２０１６年

鎌倉人・第２４号
鎌倉市議会議員
永田　まりな

1983 年２月 19 日生まれ　33 歳　AB 型
聖路加幼稚園、七里ヶ浜小学校、北鎌倉女子学園中学校、鎌倉高等学校、フェリス女学院大学卒業
2004 年度ミス鎌倉　鎌倉ケーブルテレビリポーターを経て大学卒業後はフリーアナウンサーとして活動
2013 年市政へ挑戦　４月鎌倉市議選初当選　総務常任委員会委員長・農業委員会担当　　現在も七里ガ浜在住

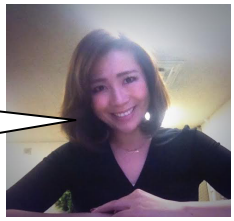
平成２８年度一般会計予算について①

２月１０日より２月定例会が開会され、平成２８年度予算が示されました。一般会計は６０７億８３２０万円。平成２７年度より０．９%減となっていますが、国民健康保険事業や介護保険事業のそれぞれ特別会計予算の大幅な増額により特別会計は平成２７年度より６．３%増の５２９億４０００万円で、予算総額は１１３７億２３２０万円で平成２７年度より２．３%増（２５億３４８０万円）となっています。また、平成２８年度は第３次鎌倉市総合計画第３期基本計画前期実施計画の最終年度であるため、財政基盤の健全化に努めるとともに、その計画の推進に向けた事業の実施も見ていかなくてはいけません。私たち鎌夢会からは小野田議員が登壇し、平成２８年度予算案に対し会派代表質問を行いました。テーマは『温故知新』。速やかなる計画実施はもとより、歴史のまちとして施策の取捨選択、実行が行われているのか、また、歴史そのものの検証がされているのか、という観点より質問を行いました。予算案に対する会派の意見は次号で。

平成２８年度一般会計予算について②

更なる市民協働を推進するため、（仮称）市民活動推進条例の制定を目指し、検討会や、ワークショップ等の予算も計上されています。
昨年９月定例会にて私の一般質問で条例制定を求め、松尾市長から制定に向けて前向きな答弁をいただいていましたが、早くも平成２８年度に動き出すようです。条例が有名無実化しないためには条例の制定段階から市民の皆さんに関わっていただき、協働の枠を超えた仕組みづくりが重要と考えます。先進市を参考に、これからも提言していきます。

連絡先は
下記の通りです



〒248-0025　神奈川県鎌倉市七里ガ浜東 5-1-12
TEL/FAX　0467－31－1746
Email：nagatamarina2013@gmail.com
ＨＰ：http://nagata-marina.moo.jp/
ＦＢ：「永田まりな」で検索！
www.facebook.com/nagatamarina.kamakura
Twitter:@nagamari0219

毎月第３土曜日に市政報告会「まりな会」を実施中
（議会月を除く…詳しくは HP 等にてご確認ください）

【討議資料】

平成２８年度一般会計予算について③～女性・子育て関連～

平成２７年度（今年度）中に策定予定の鎌倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理

今定例会で示されたまち・ひと・しごと創生総合戦略（案）では、鎌倉市の人口ビジョンを基に
１鎌倉市での安定した雇用を創出する
２鎌倉市の魅力に磨きをかけ、新しいひとの流れをつくる
３鎌倉市での結婚・出産・子育ての希望をかなえる
４次世代に続く鎌倉を創出する
という４つの基本目標が掲げられています。創業支援や企業誘致、またマーケティングの観点から鎌倉を経営していく視点をもつこと、そして、女性が働くということとライフプランニングの関係については私自身、一般質問などを通じてここまで市に提言をしてきたので今回のまち・ひと・しごと創生総合戦略には期待をしているところです。特に、策定にあたり、子育て中の女性の本音を市長が直接聞ける場を、という私の一般質問での提言に対し、「子育てママとの懇談会」を開催していただきました。そこで出された意見もしっかり反映されていくよう注視していきたいと思います。

子ども会館・子どもの家整備事業

待機児童の解消や学校からの距離が課題となっている西鎌倉・岩瀬子どもの家を西鎌倉・岩瀬小学校の敷地内に移転する工事に着手されます。また、全市的に拡がっている子どもの家（学童）待機児童対策、また放課後時間の充実を目指すための放課後子ども総合プラン導入による子どもの家の運営を目指す、とのことですので、全ての子どもの放課後の時間が充実し、選択肢の幅が拡がるよう、こちらも注視し、提言を続けていきたいと思います。

放課後子ども教室運営事業

稲村ケ崎小学校・今泉小学校で引き続き放課後子ども教室を実施する、とのことですが、この２校は子どもの家の定員に対して比較的余裕のある２校。待機児童が多く出ている小学校での放課後子ども教室を実施し、子どもの家と放課後子ども教室、放課後の時間の過ごし方に２つ選択肢のある状況を作っていくよう検討を進めていただきたいと思います。

国道１３４号線擁壁改修事業

現在、七里ガ浜の行合橋から小動にかけて行われている国道１３４号線の擁壁改修事業は、**①防災機能の強化②交通渋滞対策③交通事故対策④歩行者の安全確保**、以上の４つの目的の下行われています。この区間を**Ⅰ行合橋側工区、Ⅱ中央工区、Ⅲ小動側工区**の３つに分けスタート時期をずらしながら進められていますが、現在は３区間とも工事中です。予定ではⅡ中央区の工事が平成 28 年度に完了となっており、中央区には渋滞の原因となっている鎌倉高校駅前交差点の車線に右折車線を設置する事業も入っていることから、車線設置による渋滞解消が期待できます。なお、Ⅰは平成２９年度、Ⅲは平成３０年度までの予定となっています。

モデル地区事業が終わり、戸別収集からステーション収集に戻りました

ステーション収集に戻った 3 月 1 日は七里ガ浜町内会のステーションを見回りました。カラスに荒らされごみが散乱しているステーションが５箇所、戸別のままごみを出されているお宅が 10 数軒、ステーション収集時に使っていたネットに苔が生え使用不可能になった、というステーションも見受けられました。また、ごみを捨てにいらした方々からは「なぜ時代に逆行するようなことするんだ」「戸別にやっと慣れてきた頃にまたステーション収集に戻すとは、市のやることは市民を見ていない」「せっかく景観が綺麗になったのにまたカラスにやられた」「ステーションまで出しに行くのがつらい（ご高齢の婦人）」と、いったご意見を頂きました。 市は、こういったご意見をしっかり受け止めていただきたいと思います。